



12月 あめチームだより

令和2年12月18日 あめチーム



寒さも少しづつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じるようになりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶたくましい子どもたち。

今一番人気なのはキックスケーター。片足でバランスをとつて漕ぐのは難しいですが、友だち同士で「足はこうよ」「こうするんよ」と教えあいながら楽しんでいる姿に成長を感じています。

「感染性胃腸炎」にご注意！

寒くなるころ、ノロウイルスやロタウイルスなど、なんらかのウイルスに感染し、嘔吐・下痢症状をくり返すことがあります。感染力の強い病気ですので、ご家庭でも十分注意をお願いします。



主な症状とケア

激しい嘔吐や下痢が突然始まる。どちらか一方だけのときもある。発熱しないことが多い。吐き気が治まってきたら、少しずつ水分補給をするが、乳児はときに、急激に悪化することがあるので注意する。

注意すること

家庭内で感染が広がることも多い。嘔吐物や下痢便には直接ふれないようにして、念入りな手洗いが大切。アルコール消毒は効かないことが多いので、漂白剤系（ミルトン液など）の消毒薬を使って、汚れた床などをふくとよい。



室内の温度と湿度

冬は汗もかきにくく、活発な外あそびに適しています。また、この時季にたくさん外あそびすることで体が鍛えられ、抵抗力もアップします。室温は、20℃くらいを目安に、あまり外気温との差が大きくならないようにしましょう。冬は空気が乾燥しやすく、乾燥するとインフルエンザウィルスが繁殖しやすくなります。冬の湿度は、何もしないと20~30%くらいまで下がることが多いので、室内にぬれたバスタオルをつるしておくなど、50~60%前後に保つような工夫をしましょう。雑菌の拡散しにくい、水の粒子が細かい加湿器がおすすめですが、手入れをおこたるとカビの温床になってしまうので、フィルターの掃除などは念入りにしましょう。

